

○ 移行期間中における内容の取扱いはどうなるのか。

- 1 新学習指導要領によることもできるものとする。
- 2 現行学習指導要領による場合には、次の通りとする。
 - (1) 第3学年及び第4学年
「我が国における自分たちの県（都，道，府）の地理的位置，47都道府県の名称と位置」を加える。
 - (2) 第5学年
「世界の主な大陸と海洋，世界の主な国の名称と位置」を加える。
 - (3) 平成21年度の第3学年及び平成22年度の第4学年
「産業や地形条件から見て県内の特色ある地域の人々の生活」ではなく，「県内の特色ある地域の人々の生活(地域の資源を保護・活用している地域)」を指導すること。

○ 我が国における自分たちの県（都，道，府）の地理的位置に関する学習はどう進めればよいのか。

県内における自分たちの市の位置，国内における自分たちの県の位置を取り上げて調べ，隣接する市や県との位置関係や日本全体から見た位置などについて，**方位**などを用いて言い表すことを通して，自分たちの市や県の位置を広い視野からとらえることができるようにする。

位置の表し方としては，

- ・ わたしたちの市は，A市やB市と隣り合っている
- ・ わたしたちの市は，県のほぼ中央にある
- ・ わたしたちの市は，県庁のあるC市のほぼ北の方角にある
- ・ わたしたちの県は，F県やG県，H県に囲まれている
- ・ わたしたちの県は，日本全体から見ると南の方にある

などが考えられる。

その際，**地図**に掲載されている距離を表す目盛りを用いて二つの地点間の距離を求める方法があることについて取り上げることも考えられる。



○ 47都道府県の名称と位置に関する学習はどう進めればよいのか。

我が国が47の都道府県によって構成されていることが分かり、都道府県の名称と位置を一つ一つ地図帳で確かめ、日本地図（白地図）上で指摘できるようにする。その際、**県の地図**や**地図帳**を十分に活用することが大切である。



考えられる活動として

- ・ 地図から自分たちの市や県を見つける
- ・ 市や県の位置を言い表す
- ・ 47都道府県の名称と位置を地図帳で確かめ、その名称を白地図に書き表す

このほか、

第3学年及び第4学年：地域の人々の生産や販売についての学習

第5学年：農業や水産業、工業の盛んな地域や運輸の働き、我が国の位置と領土、地形や気候の概要などについての学習

第6学年：歴史学習

これらの学習では、地図や統計資料などに、様々な都道府県の名称が度々登場してくる。そうした学習場面においては、その都度、その都道府県の位置を地図帳の日本地図で確認したり、学習した事柄を日本地図（白地図）に整理したりすることが大切である。

○ 世界の主な大陸と海洋、世界の主な国の名称と位置に関する学習はどう進めればよいのか。

「世界の主な大陸と海洋」を調べるとは、

六大陸：ユーラシア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸

三海洋：太平洋、大西洋、インド洋

の名称と位置や広がりを取り上げ、**地図帳**や**地球儀**などで調べ、白地図などに書き表すことである。その際、世界の中の我が国の位置を確認させ、世界の大陸や海洋と我が国の国土との位置関係や、我が国は周囲が海に囲まれた島国であることなど日本列島の特色を理解できるようにする。

「主な国の名称と位置」を調べるとは、世界の主な国を取り上げ、その国の名称と位置を地図帳や地球儀などで調べ、白地図などに書き表すことである。その際、我が国とそれらの国との位置関係を確認させ、産業に関する学習などにおいて活用できるようにする。

「主な国」の取り上げ方としては、例えば、近隣の諸国を含めてユーラシア大陸やその周りに位置する国々の中から10か国程度、北アメリカ、南アメリカ、アフリカ、オーストラリアなどの大陸やその周りに位置する国々の中からそれぞれ2か国程度を選択することが考えられる。

指導に当たっては、地図帳や地球儀などを活用しながら取り上げた国の名称と位置を確認するようにする。その際、近隣の諸国については正式な国名が分かるようにする。

○ 県内の特色ある地域の人々の生活（地域の資源を保護・活用している地域）に関する学習はどう進めればよいのか。

県内の特色ある地域の人々の生活の様子を取り上げ、**自然環境**、**伝統**や**文化**などの地域の資源を保護・活用している地域やそこに見られる人々の生活の特色を具体的に調べる。



取り上げる「県（都、道、府）内の特色ある地域」として

- ・ 伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域
- ・ 渓谷や森林、高原や湿原、河川や海辺などの豊かな自然を守りながら、あるいは、歴史ある建造物や街並み、祭りなどの地域の伝統や文化を受け継ぎ保護・活用しながら、地域の人々が互いに協力して、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域

が考えられる。

指導に当たっては、県内の特色ある地域を選択して取り上げ、人々の生活の様子を具体的に学習できるようにする。例えば、取り上げた地域の市役所などに問い合わせたりインターネットを活用したりして県内の特色ある地域に関する資料を収集し、有効に活用することが考えられる。また、地域の伝統や文化を生かしたまちづくりに取り組んでいる地域や伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域については、見学や調査などの体験的な活動を取り入れることも有効である。

